



一般社団法人 電波産業会
Association of Radio
Industries and Businesses

No.1495 2026年4月27日

ARIB からのお知らせ

第 223 回 ARIB 電波利用セミナー開催のお知らせ
「WRC-27 に向けた国際標準化動向」

国際電気通信連合(ITU: International Telecommunication Union)は、世界無線通信会議(WRC: World Radiocommunication Conference)と呼ばれる会議を4年に1度開催しています。この会議は、世界の周波数帯の利用方法など、国際的な電波秩序を規律する無線通信規則(RR: Radio Regulations)の改正を目的としており、直近では2027年に上海にてWRC-27が開催される予定です。

WRC-27に向けて、各国主管庁やITUに登録している事業者等は、ITUおよび各地域会合において活発な議論を展開しています。我が国もITUやアジア・太平洋電気通信共同体(APT: Asia Pacific Telecommunication)において主要なポストを確保しながら、積極的な取り組みを進めています。近年の動向として、これまで国際会議をリードしてきた先進国に加え、発展途上国からも積極的な働きかけが行われており、従来の国際標準化の動向とは異なる動きも見受けられるようになってきました。

そこで、今回のARIB電波利用セミナーでは、総務省総合通信基盤局電波部電波政策課国際周波数政策室長の加藤義行氏をお迎えして、来年に開催されるWRC-27を見据えたITUおよびAPTにおける国際標準化動向について、各国の取り組みを交えながらご講演いただきます。会員の皆様には、是非ともご参加下さいますようにご案内申し上げます。

記

1. 日 時 : 2026年5月28日(木) 16時~17時
2. 場所・形態 : オンラインセミナー(Zoom ウェビナー使用)
3. 題 名 : 「WRC-27 に向けた国際標準化動向」
4. 講 師 : 総務省 総合通信基盤局 電波部 電波政策課 国際周波数政策室
室長 加藤義行氏
5. 参 加 者 : 180名程度(定員になり次第締め切らせていただきます。)
ARIB 正会員、賛助会員対象
6. 申 込 先 : 当会ホームページの「講演会等開催案内」よりお申込みください。
(<https://www.arib.or.jp/osirase/seminar/index.html>)
7. 参 加 費 : 無料
8. 問 合 せ 先 : ARIB 電波利用セミナー事務局 角埜、大塚
TEL: 03-5510-8592 E-mail: arib-seminar@arib.or.jp

アジア・太平洋電気通信共同体無線グループ第 36 回会合(AWG-36)の概要

1. 会合の概要

AWG(Asia-Pacific Telecommunity Wireless Group)は、アジア・太平洋地域内における無線通信システムの高度化及び普及・促進を目的として、同地域内での無線通信システムに関する周波数の調和や標準化等について検討を行う会合です。同地域各国の無線技術の専門家が参加し、通常年 2 回程度開催されています。本会合の議長は Daejung Kim 氏（韓国）が務めました。また、最終日の全体会で、副議長の 1 人に加藤康博氏(NTT)が選出されました。なお、加藤康博氏には当会技術委員会委員長も務めていただいています。

2. 開催の概要

日 程：2026 年 4 月 6 日（月）～10 日（金）

場 所：ブルネイ、バンドル・スリ・ブガワン
(Web 会議併用)

参加者：アジア・太平洋地域の主管庁・民間組織・国際機関等から 404 名。日本代表団として、総務省国際周波数政策室の加藤義行室長を団長に 78 名。
(電波産業会からは西岡理事、横山次長、佐藤担当部長、金本主任研究員が参加)



会合の様子

3. 主要結果

3-1 IMT 関連

(1) 周波数関連(SWG-IMT SPEC)

- ① 各国の移動通信事業者の周波数帯についてまとめた文書「2025-2030 年における IMT 利用のためのトレンドと周波数開発に関する APT 報告(APT/AWG/REP-136(Rev.1))」の改訂作業が完了しました。
- ② 新 APT 報告「Case studies related to the analysis of IMT network deployment and spectrum usage trends in the Asia-Pacific countries」の作成を開始することで合意し、作業文書及び作業計画を作成しました。本文書の内容はアジア太平洋諸国における IMT のネットワーク展開状況及び周波数利用状況のトレンドをまとめるものであり、第 38 回 AWG での完成予定です。

(2) 技術関連(SWG-IMT TECH)

- ① 各国の移動通信事業者の周波数帯、方式及び免許取得状況に関する報告 APT/AWG/REP-15(Rev.10)の改訂作業が完了しました。
- ② IMT-2030/6G の潜在的なユースケース及び適用方法に関する新報告案に関して、5 件の入力文書を取り込み、作業文書を更新しました。本報告案は次回(AWG-37)会合での完成を予定しています。

- ③ 「IMT ネットワークにおけるモバイルトラヒックの動向の分析」に関する新 APT 報告について、4 件の入力文書を取り込み、作業文書を更新しました。本件は、APT 加盟国のモバイルトラヒックの現状や将来展望を分析するものであり、次回会合で最終化予定です。
- ④ 前回到引き続き、第 4 回 6G ワークショップが開催されました。今回のワークショップの概要は以下の通りです。
- GSA/Ericsson/GSMA/Softbank/韓国からプレゼンテーションが行われ、ITU-R WP 5Dにおいて最終化された IMT-2030(6G)向け技術性能要件(TPR)に関する報告書の内容や AI ネイティブ 6G を中核とする韓国の国家戦略などについて紹介がありました。
 - プレゼンテーション後に Q&A セッションが設けられ、主な質疑として、WP 5D で TRP 策定が完了したことを受けて、特に策定が難しかった TPR 項目や、6G の AI や ISAC といった TPR 項目を踏まえて、AWG として今後どのような活動を進めるべきか、などがありました。

3-2 ITS 関連

AWG では、2023 年以来、「ITS 用ミリ波レーダ/センサ」、「路車協調システム」、の 2 件の新 APT 報告の作成に取り組んできました。両報告はともに、これまで、ITS 情報通信システム推進会議（事務局：電波産業会）が主導し、積極的に貢献してきたもので、今回、語句の修正や最後の仕上げ作業等を経て、それぞれ、最終日のプレナリーで正式に承認されました。

3-3 AWG 副議長等の任命について

本会合にて、AWG 副議長として加藤康博氏（日本）及び Wang Hu 氏（中国）が選出されました。また、Bharat Bhatia 氏（インド）がスペシャルアドバイザーを務めることとなりました。なお、スペシャルアドバイザーは副議長と同格となります。

4. 次回会合

次回の第 37 回 AWG 会合は、2026 年 9 月にバングラデシュ、ダッカで開催される予定です。

日中韓情報通信標準化会議 IMT WG 第 76 回会合概要報告

1. 会合の概要

本会合は、日中韓3ヶ国の標準化機関(SDO: Standards Development Organization)におけるITU-R、APT、3GPP等のIMT(International Mobile Telecommunications)国際標準化の取り組みに関する情報・意見交換を行うとともに、ITU-R SG5 Working Party 5D(WP 5D)会合等の国際会合向けの共同寄与文書作成を行うことを目的としており、年3回開催されています。

日 程：2026年4月14日（火）、15日（水）

場 所：日本・福岡(Web会議併用)

出席者：各国SDOのメンバーとして、CCSA（中国）から23名、TTA（韓国）から17名、ARIBから25名（事務局からは西岡理事、佐藤(拓)担当部長、安井主任研究員、金本主任研究員）が参加

2. 主要結果

- (1) 前回会合以降実施されたWP 5D第51回会合及び3GPP会合の結果を共有し、今後の検討課題について意識合わせを行いました。
- (2) 2026年5月27日から開催予定のWP 5D第52回会合に向け、各国の準備状況についての情報共有及び意識合わせを行い、継続検討項目、作業内容を特定しました。
- (3) IMT-2030無線インタフェース技術の提案方法、評価基準、提案用テンプレート等を示す新報告ITU-R M.[IMT-2030.SUBMISSION]において、候補技術が各要求条件を満たすか否かを評価するためのテンプレートに関する共同寄与文書化の可能性について継続議論することとなりました。
- (4) IMT-2030無線インタフェース開発の詳細プロセスを示すIMT-2030/02（プロセス文書）において、提案技術の自己評価に関する記述や、提案された技術が要求条件を満たしているかを判断する条件の記述等を提案する共同寄与文書化の可能性について継続議論することとなりました。
- (5) IMT-2030無線インタフェース技術の評価方法を示す新報告ITU-R M.[IMT-2030.EVAL]における基本チャンネルモデルを補完する拡張モジュール(Extension Module)の記述を明確化するための改善案について意見交換することとなりました。
- (6) IMT-2030/02の更新並びにIMT-2030無線インタフェース技術の評価方法を示す新報告の完成に関する回章及びそれらを外部機関へ知らせるためのリエゾン文書に関する共同寄与文書化の可能性について継続議論することとなりました。
- (7) WRC-27議題1.7に関して、引き続き日中韓での情報連携を行うこととなりました。
- (8) WRC-27議題1.13に関して、地上IMTシステム保護に関する規制措置等に加えて、関連する越境干渉および隣接チャンネル漏洩比(ACLR)の扱いについても継続議論することとなりました。

3. 次回会合のスケジュール

次回は2026年8月26日、27日に中国、青島においてWeb会議併用にて開催を予定しています。

自営無線通信調査研究会第34回会合を開催

自営無線通信に係る行政機関、研究機関、メーカ及びユーザの代表者をメンバーとして、自営無線通信を取り巻く内外の技術動向、利用動向などについて調査し、その高度化について検討する「自営無線通信調査研究会」（委員長：電気通信大学教授 藤井威生氏）の第34回会合が、約30名の参加のもと4月17日（金）にWeb会議で開催されました。

今回の会合においては、最新施策動向として総務省総合基盤局電波部基幹・衛星移動通信課基幹通信室課長補佐の幸坂篤志氏より「22GHz帯 FWA システムの高度化に関する技術的条件」、自営無線通信技術の高度化として国立研究開発法人情報通信研究機構ネットワーク研究所ワイヤレスネットワーク研究センター宇宙通信システム研究室主任研究技術員の小竹秀明氏より「地上-衛星間光通信回線の大気伝搬特性と次世代誤り訂正符号の適用に向けた取組み」の演題でプレゼンテーションがあり、その後熱心な質疑応答がなされました。

本調査研究会では、今後も引き続き、自営無線通信を取り巻く政策動向や技術動向について調査研究を進めていく予定です。

第 351 回技術委員会（通信分野）を開催

第 351 回技術委員会（通信分野）を開催しました。

1. 日 時：2026 年 4 月 22 日(水)15 時 30 分～16 時 40 分
2. 場所・形態：当会第 3 会議室(Web会議併用)
3. 議 題：
 - (1) 第126回規格会議の結果について
 - (2) 3GPP TSG福岡会合の招致ならびに付随イベント実施に関する報告について
 - (3) XGモバイル推進フォーラム2025年度定時総会の概要報告について
 - (4) アジア・太平洋電気通信共同体無線グループ第 36 回会合(AWG-36)の概要報告について
 - (5) 日中韓情報通信標準化会議IMT WG第76回会合の概要報告について
 - (6) 電波の日記念講演会の開催について
 - (7) その他

第 222 回 ARIB 電波利用セミナーを開催 「先端技術の研究開発と社会実装の取組」

4 月 23 日（木）に第 222 回 ARIB 電波利用セミナーをオンラインセミナーとして開催しました。

総務省国際戦略局技術政策課研究推進室長の**大野誠司氏**を講師にお招きし、「先端技術の研究開発と社会実装の取組」と題してご講演いただきました。

ご講演ではリモートセンシング技術、テラヘルツ無線通信技術、フォトニックネットワーク技術、量子通信技術、生成 AI 技術及び脳情報通信技術など研究推進室で取り組んでいる多様な先端技術の研究開発と社会実装に向けた取組についてご説明いただきました。

当日は、約 60 名の会員の皆様が参加され、オンラインでご聴講いただくとともに、活発な質疑応答が行われました。

なお、講演資料は当会ホームページ内「ARIB 会員のページ」の<https://www2.arib.or.jp/aribmem/seminar/konwakai/index.html>において公開を予定しております。



総務省 大野氏

ARIB 内会合(4月27日～5月8日)予定

5月8日(金) : 第47回標準化部会

Web会議

5月8日(金) : 第76回モバイルパートナーシップ部会

Web会議

国際会合(4月27日～5月8日)予定

4月27日(月)～29日(水) : ITS 欧州会議(トルコ、イスタンブール) Web会議併用

総務省などからのお知らせ

陸上無線通信委員会報告(案)に対する意見募集

— 「小電力の無線システムの高度化に必要な技術的条件」のうち「無線 LAN システムの高度化利用に係る技術的条件」のうち「6GHz 帯無線 LAN の周波数拡張等に係る技術的条件」及び「5GHz 帯無線 LAN の DFS 高度化に係る技術的条件」—

【令和8年4月21日発表】

情報通信審議会 情報通信技術分科会 陸上無線通信委員会は、諮問第2009号「小電力の無線システムの高度化に必要な技術的条件」のうち「無線 LAN システムの高度化利用に係る技術的条件」のうち「6GHz 帯無線 LAN の周波数拡張等に係る技術的条件」及び「5GHz 帯無線 LAN の DFS 高度化に係る技術的条件」に関する陸上無線通信委員会報告(案)について、令和8年4月22日(水)から同年5月26日(火)までの間、意見を募集しています。

詳細については [【令和8年4月21日の総務省報道資料】](#) をご覧下さい。

陸上無線通信委員会報告(案)に対する意見募集

— 「小電力の無線システムの高度化に必要な技術的条件」のうち「76GHz 帯小電力ミリ波レーダーの高度化に関する技術的条件」—

【令和8年4月23日発表】

情報通信審議会 情報通信技術分科会 陸上無線通信委員会は、先進運転支援システム(ADAS)や自動運転に使われる 76GHz 帯ミリ波レーダーの広角化等を可能とする電力の上限値等の見直しに係る技術的条件に関する陸上無線通信委員会報告(案)について、令和8年4月24日(金)から同年5月28日(木)までの間、意見を募集しています。

詳細については [【令和8年4月23日の総務省報道資料】](#) をご覧下さい。

※次号の発行は5月11日(月)の予定です。



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

☎100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<https://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp